



# 一般社団法人AND LOCAL

一般社団法人AND LOCALは民間のまちづくり、またあそび会社です。

田辺湾をひとつに、漁業者の皆さん、各地域で活躍される皆さんをひとつに『SHIOGORI』をキーワードに、田辺を盛り上げていきたいと思ひます。

次の1000年のためにいまできる事を。

『潮垢離からはじまる熊野古道』、そしてSHIOGORIからはじまるあたらしい田辺を実現いたします。

## 関連するSDG s のゴールと取組



扇ヶ浜の目の前に広がる海を青く、豊かな海として次の世代にバトンタッチする潮垢離ひろめ漁業者、水産業者、まちづくり会社、観光、すべてをひとつにして、地域活性化と関係人口の創出に取り組んでいます。

フラッグシップイベントのSHIOGORI CAMPでは、老若男女、貴賤を問わず受け入れてきた熊野の歴史に習い開催しています。

すべての人が平等で、持続可能な地域を目指し、様々なプロジェクトに取り組んでおります。



# いくお工務店株式会社

いくお工務店株式会社は田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町・すさみ町を含む和歌山県内で家具・家電・粗大ゴミの回収から買取、遺品整理、ゴミ屋敷片付けまで幅広く対応しています。

お客様の負担を減らすだけでなく、回収品をできる限りリユース・リサイクルへつなげ、地域の暮らしと環境保全に貢献するサービスを目指しています。

当社はこれからも安心して相談できる身近な窓口として、丁寧な対応を大切にしています。信頼される地域密着の運営を進めます。



## 不用品回収 トラスト和歌山

## 関連するSDG s のゴールと取組



5 ジェンダー平等を実現しよう 11住み続けられるまちづくりを  
女性の社会進出貢献のため、管理者の雇用は能力で判断。女性管理者を増やす試みを行っています。

回収品は品目に応じて適切にリメイク・リサイクルを行い、廃棄処分量を大幅に削減。きれいで住みやすい街になるようサポートしていきます。



# うつほの杜学園小学校

私たち、うつほの杜学園小学校は、和歌山県田辺市に開校した新しい学び舎として、「探究型グローバル教育」を掲げ、持続可能な社会の担い手となる子どもたちを育てています。私たちは、地域の自然・文化・人とのつながりを大切にしながら、以下のSDGs目標に重点を置いた取り組みを進めています。



## 関連するSDGsのゴールと取組

4 質の高い教育を  
みんなに



4 質の高い教育をみんなに

子ども一人ひとりの「学びの個性」を尊重し、「問いを立て、深め、つなげる」探究的な学びを通じて、自己と社会をつなぐ力を育みます。

11 住み続けられる  
まちづくりを



11 住み続けられるまちづくりを

地域の方々との協働による「フィールド探究」や地域行事への参加を通じて、持続可能な地域社会への愛着と参画意識を育みます。

12 つくる責任  
つかう責任



12 つくる責任 つかう責任

校内外の実践活動（梅の収穫・調理、田畑の手入れなど）を通して、循環型社会への理解と行動力を養います。





# エコ和歌山株式会社

エコ和歌山株式会社は、「きれいな水を次の世代へ」との目標を掲げて、浄化槽、給排水設備、産業排水処理施設の設計、施工、保守点検から水質分析、土壌分析まで、「環境」にかかわる事業をトータルに展開し、和歌山県のオンリーワン企業を目指しています。

特に産業排水（工場排水）を浄化処理する際に発生する産業廃棄物（余剰汚泥）を削減する技術の開発に成功し、平成26年に和歌山県知事より「わかやま環境賞」を受賞し、平成27年に特許（5747192号）を取得しました。この技術は、県内各地の工場で導入され、産業廃棄物（余剰汚泥）を削減し、地球に優しく、工場のコストカットにも貢献しています。



## 関連するSDG s のゴールと取組

6 安全な水とトイレを世界中に



6 安全な水とトイレを世界中に

水道と浄化槽の設置工事や保守点検を通じて、安全な水とトイレを供給し、その排水を浄化し、川や海の水質を守ります。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

産業排水（工場排水）を浄化処理する際に発生する産業廃棄物を削減する技術を通じて、環境に優しい工場の運営を目指します。

14 海の豊かさを守ろう



14 海の豊かさを守ろう

上記の活動を通じて、海の富栄養化や汚染を防ぎます。



# 有限会社榎本家具店

有限会社榎本家具店は、明治43年の創業以来 地域に根差した企業として家具の製造、販売、メンテナンスを行ってきました。2018年からは、地元の紀州ヒノキの虫食い材（あかね材）を活用した家具作りを行っています。

あかね材はカミキリムシの被害の痕が残る為、建築材に使用させることが少なく、木材価格の下落を引き起こしています。あかね材の被害痕をネガティブに考えず、木目や節と同じ自然の中でできたナチュラルなものとしてポジティブに捉え、モノづくりを行い、発信しています。

あかね材を積極的に使用することは林業を活性化することに繋がっています。

また、事業で得た利益の一部を森林学習や森林体験に流用し、子供たちが山に出向き自然に触れるきっかけ作りを行っています。



## 関連するSDG s のゴールと取組

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



### 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

地元で紀州材での家具作りを行うことで、林業、製材業、木工業、運送業などの産業に、新たな事業が生み出され、雇用を創出することが可能となります。



## 関連するSDG s のゴールと取組

12 つくる責任  
つかう責任



### 12 つくる責任 つかう責任

地元の山から取れる森林資源のひとつであるヒノキ材のあかね材を使用することで、環境に配慮した調達をしています。また、修理や張替えが可能なモノづくりをしており、持続的に使用することができます。

13 気候変動に  
具体的な対策を



### 13 気候変動に具体的な対策を

あかね材を積極的に使用することで、手入れ不足の山の改善に繋がり、土砂崩れ、洪水などを軽減することができます。また、子供たちへの体験植林を通じ、二酸化炭素を吸収する森林を増やし、大気中のCO2濃度を低下させる効果が期待できます。

14 海の豊かさ  
を守ろう



15 陸の豊かさ  
を守ろう



### 14 海の豊かさを守ろう 15 山の豊かさを守ろう

廃棄されることもあるあかね材を積極的に使用し、山に還元することで、循環型の産業形態を作っています。また、山の資源を守ろうということは、豊かな水を守り海を守ることに繋がります。